

12月の誕生花⑫

誕生花とは生まれた日にちなんで1年365日それぞれに特定の花を割り当てたものです。誕生日には、その日を象徴する誕生花を贈ってお祝いをするなどして親しまれています。



12月3日【ツワブキ】

花言葉 「心遣い」

「葉に艶のある落」 「艶葉落（ツヤハブキ）」が変化し、ツワブキと呼ばれるようになったといわれています。

秋から冬にかけてキクに似た、黄色い花が咲きます。

12月14日【ナンテン】

花言葉 「ますます幸せ」

「わざわざ（難）を転じて福となす」に通じるとして、古くから縁起が良いとされ、縁起木、厄よけ、魔よけとして庭に植えられてきました。



12月20日【ツルウメモドキ】

花言葉 「開運」

落葉性のツル植物で、葉の形がウメに似ているのでこの名で呼ばれています。赤い実と黄色の仮種皮のコントラストが美しいので、生け花の材料としても使われます。

12月29日【ヒイラギモチ】

花言葉 「清廉」

モチノキ科の常緑樹です。クリスマスホーリーやチャイニーズホーリーなどと呼ばれています。赤い実と、つやのある緑葉のコントラストが美しく、クリスマスのリースなどに使われます。



2025
12月

12月31日 大晦日

大晦日はおおつごもりとも読めます。陰暦では、月が見えなくなってしまう新月を月末とし、月隠（つきごもり）と表しました。それが訛って「つごもり」になり、更に「おお」をつけることにより一年の最後を表す言葉になったのです。

植物家紋 ⑫

橘たちばな

ミカン科の常緑小高木である橘の、実や葉、花を象り、紋章化した家紋です。唯一の日本原産の柑橘類であり、「常世の国の木の実の樹」として珍重されてきました。また、「万葉集」にも数多く詠まれており、その存在は古くから人々に親しまれていました。



橘

使用苗字：中井、赤井、
植田、川村、甲斐庄



丸に橘

使用苗字：小川、小野、
石井、宇佐美



井桁に橘

使用苗字：大友

樹木の雑学 ⑫

冬の風物詩「こも巻き」——松を守る、日本の知恵



秋が深まり、冬の足音が近づく頃、庭園や神社の松の幹に巻かれる

「こも巻き（菰巻き）」をご覧になったことはありますか？

わらで編まれた「菰（こも）」を巻いた松は、冬の風物詩として親しまれています。

この菰巻きは、もとは害虫「マツカレハ」の越冬を防ぐための知恵でした。寒さを避けて菰の中に集まる虫の習性を利用し、春先に菰ごと焼却することで駆除していたのです。

しかし最近では、実際の防虫効果に疑問の声もあがっています。益虫まで巻き込んでしまうことや、気候変化により害虫が菰に入らなくなったケースも確認されているようです。

それでも、菰巻きからは、自然と共に生きる先人の知恵と、日本人の繊細な美意識を感じます。実用性だけを重視するのではなく、冬の庭園を彩る静かな美しさを伝統文化として残していきたいと願います。

◆本の紹介◆

クリスマスに贈りたい おすすめ絵本



『はかれないものをはかる』

工藤あゆみ（著）／青幻舎

日々の中でつい「はかること」に追われてしまう私たちへ。そんな心をやさしく解きほぐしてくれる一冊です。
年末年始のひとときに、大切な人や自分への贈り物としてぜひ。



『Mo Story 子猫のモー』

チェ・ヨンジュ（著）、
矢部太郎（訳）／玄光社

ある夜、子猫のモーは“笑っている光”を追いかけて、森へと冒険に出ます。挑戦や勇気、やさしさを感じさせる物語と、心をほぐすシックな絵が魅力の、大人にもおすすめの絵本です。

